



GN地域における外資系企業の活動事例



進出後の成果

GN地域のインバウンド消費拡大や魅力発信へ貢献

企業概要

- ・ 日本支店名：インサイドアジア・ツアーズ・リミテッド
(日本国内でのサービスブランド名：インサイドジャパン・ツアーズ)
- ・ 企業名：Inside Travel Group Ltd. (イギリス)
- ・ 進出時期：2006年(愛知県名古屋市)
- ・ 拠点形態：外国企業の海外支店、営業拠点



企業ロゴ



高山での里山サイクリングの様子

事業概要

Inside Travel Group Ltd.は、英語圏の顧客に対して、日本をはじめとするアジア圏(ベトナム、韓国等)への個人旅行やグループツアーを提供する旅行会社。イギリスに本社を置き、日本(名古屋市)の他、オーストラリア、アメリカに支店を構える。日本支店は、日本の旅行の企画、交通・宿泊等の手配から添乗を含む現地サポート業務を担い、有名観光地に留まらない日本各地の魅力を体験できるユニークな旅行を英語圏の顧客に対して提供している。

進出背景

- ・ 英語圏の顧客に対して、日本への個人旅行やグループツアーを提供する日本専門の旅行会社として、2000年にイギリスでインサイドジャパン・ツアーズ・リミテッド(現：Inside Travel Group Ltd.)を設立。
- ・ 日本支店開設(2006年)以前は、日本国内のパートナー(現在の日本支店長などの個人やその他の事業者)へ手配業務等を外部委託していたが、インバウンド観光客の増加により、手配等の業務を自社で実施する必要性が高まるとともに、日本を含めたアジア圏への更なる誘客を目的に日本支店の設置を検討。
- ・ GN地域への進出については、外国人観光客に人気の二大観光地(東京、京都)を含む日本国内各地への交通アクセスが良いことや、オフィス賃料の条件が良いことに加え、同社創設者がGN地域での勤務経験を有しており、当地の地理にも明るく、愛着を持っていたことから、ジェトロの支援や名古屋市からの補助も受け、2006年に名古屋市での日本支店設置に至った。また、2013年からは、日本以外のアジア圏への旅行も取り扱うようになった。

地域経済への貢献

- ・ 日本支店設置後18年で、従業員数は3名から60名に、売上高もコロナ禍を乗り越え3億円以上まで成長。今後もインバウンド観光の拡大を見込み、積極的な採用活動を継続中。
- ・ 欧米を中心とする潜在顧客に対する高いリーチ能力を有する上、日本文化や地域社会に対する理解やネットワークを元に、高山・白川郷、妻籠・馬籠、熊野古道などGN地域の魅力が体験できる旅行の提案もしており、観光を通じたGN地域の魅力発信にも貢献。
- ・ また、持続可能性をビジネスモデルの中心に据え、B Corp認証(※)を取得するとともに、名古屋市SDGs推進プラットフォームの会員企業ともなりながら、地域コミュニティの一員として観光誘致を通じた地域社会へ貢献も目指す。

※ B Corp認証：米国に拠点を置く非営利団体 B Lab (<https://www.bcorporation.net/en-us/>)が運営する、企業の社会や環境等への影響を評価する国際認証制度。